

有機農業の拡大に向けた施策の動向

令和6年7月

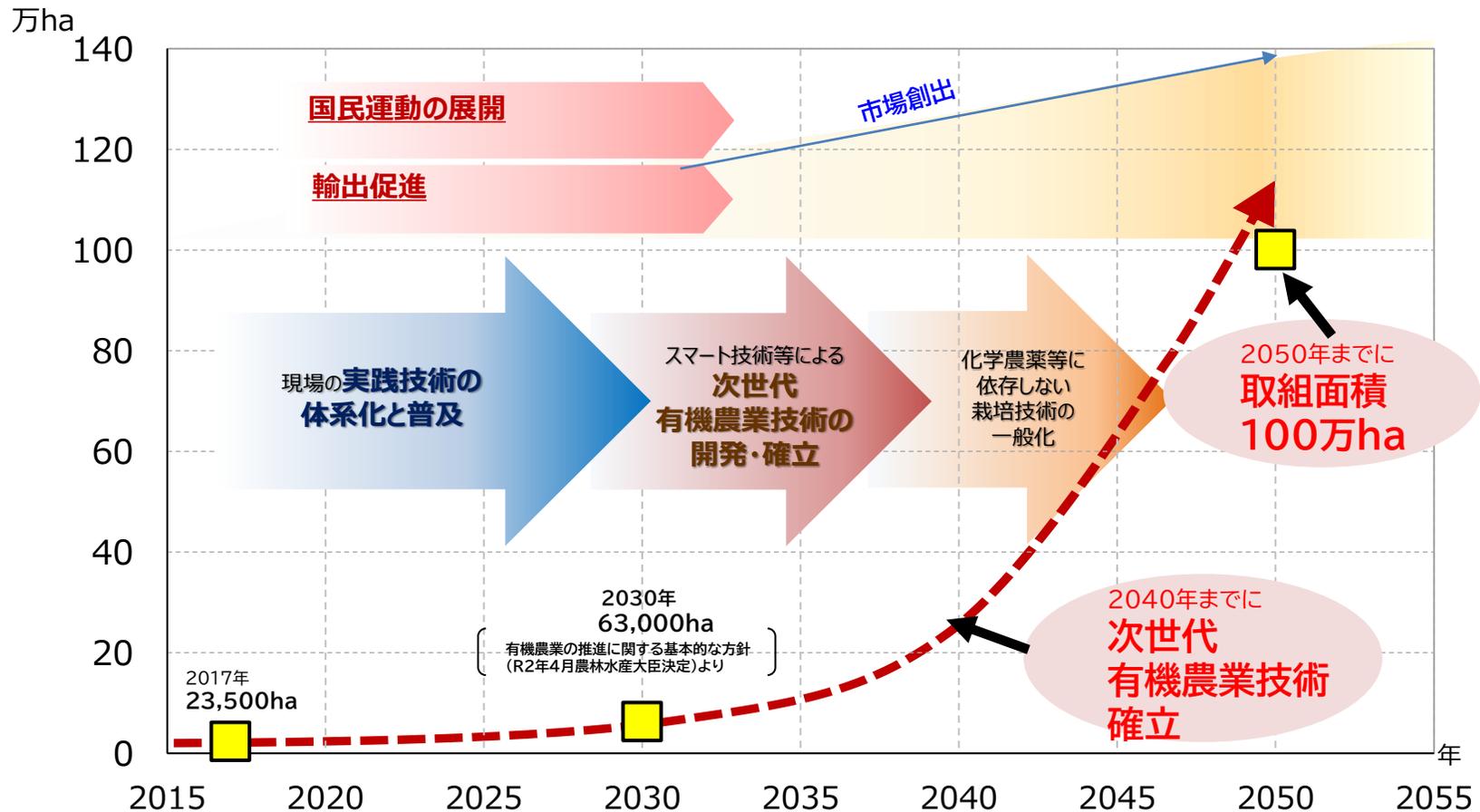
農林水産省

農産局農業環境対策課

有機農業の取組の拡大

目標

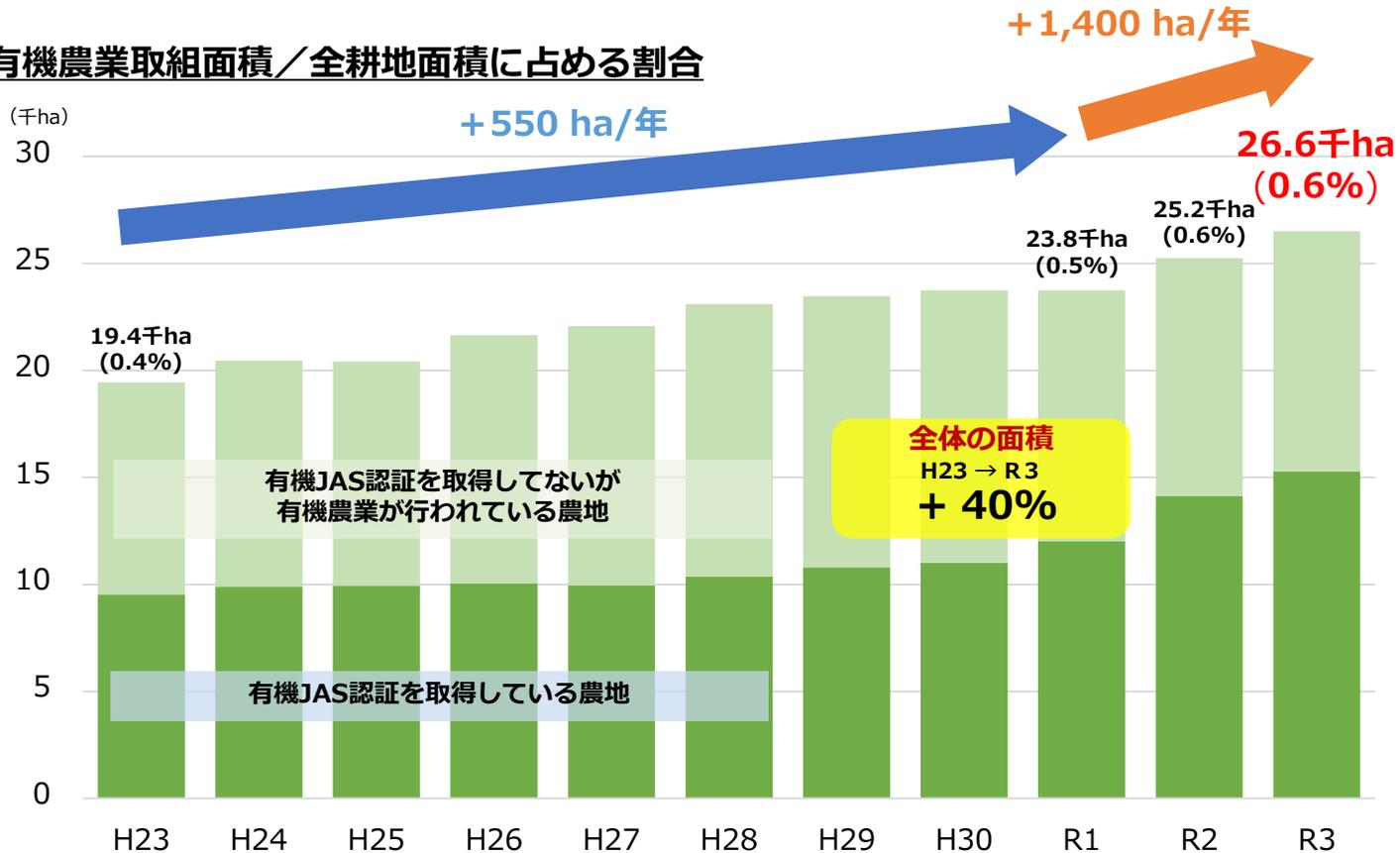
- ・2050年までに、オーガニック市場を拡大しつつ、耕地面積に占める**有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大**（※国際的に行われている有機農業）
- ・2040年までに、主要な品目について農業者の多くが取り組むことができる**次世代有機農業技術を確立**



日本の有機農業取組面積について

- 日本では、有機農業の取組面積は過去10年で約4割拡大。
- 近年、+550ha/年の増加ペースであったが、直近2年間は+1,400ha/年で推移。

日本の有機農業取組面積／全耕地面積に占める割合



※ 有機JAS認証を取得しているほ場面積は農林水産省食品製造課調べ。有機JASを取得していない農地面積は、農業環境対策課による推計（注：H23～26年までは、「平成22年度有機農業基礎データ作成事業」（MOA自然農法文化事業団）の調査結果からの推計又は都道府県からの聞き取りにより推計、H27年度以降は、都道府県からの聞き取りを基に、農業環境対策課にて取りまとめ。）

有機食品市場 日本の状況

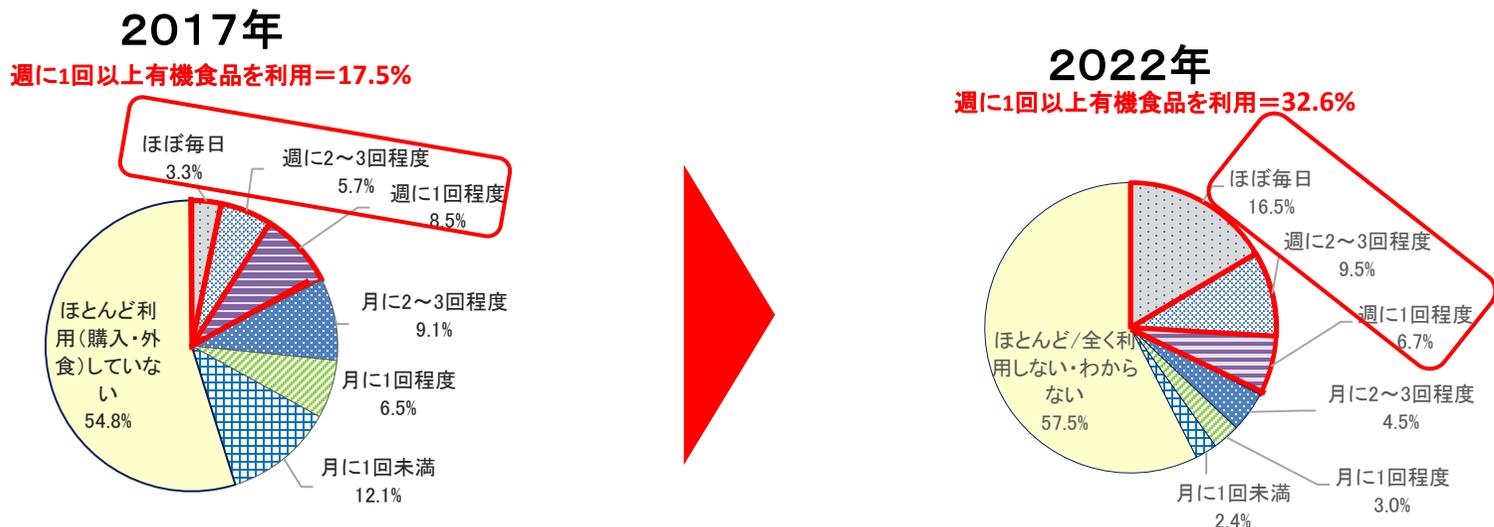
- ▶ 我が国の有機食品の市場規模は、消費者アンケートにより、2009年に1,300億円、2017年に1,850億円、2022年に2,240億円と推計。
- ▶ 2022年の調査では、週に1回以上有機食品を利用する消費者は32.6%。

我が国の有機食品市場規模の推計状況 (消費者アンケートに基づく)

推計年度	2009年	2017年	2022年
日本全国の有機食品市場規模の推計値 (円)	1,300億円	1,850億円	2,240億円

※2009年は、IFOAM ジャパン/オーガニックマーケットリサーチプロジェクトによる推計を、2017年は、農林水産省「有機食品マーケットに関する調査」による推計、2022年は、農林水産省「有機食品市場規模及び有機農業取組面積の推計手法検討プロジェクト」による推計を基に、農業環境対策課作成

消費者アンケート調査の結果

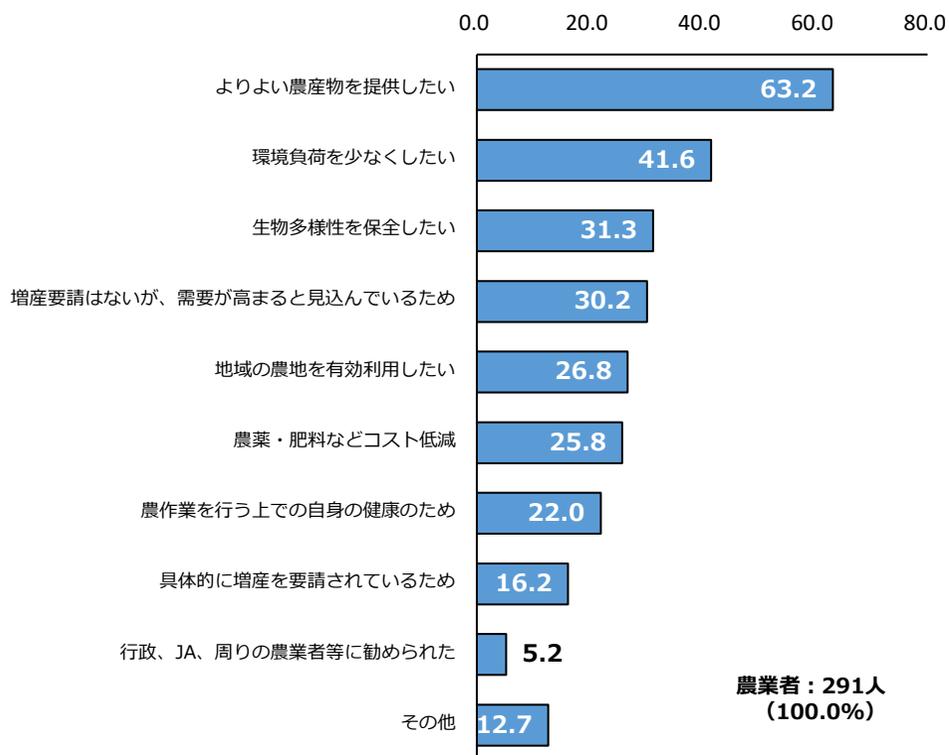


農林水産省「有機食品市場規模及び有機農業取組面積の推計手法検討プロジェクト」から、農業環境対策課作成

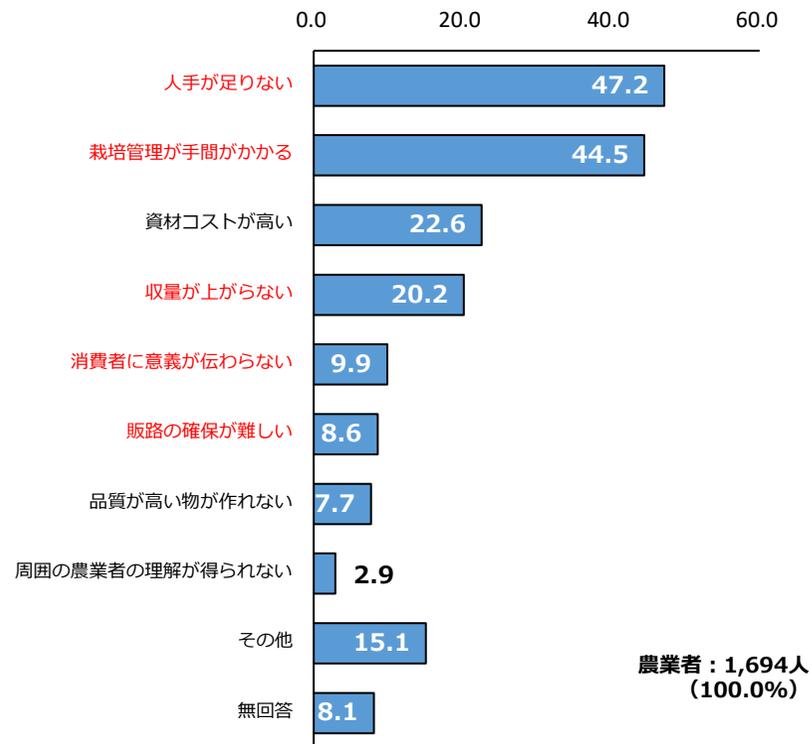
有機農業に取り組む生産者の課題

- 有機農業を行っている者が取組面積を拡大する際の理由は、「より良い農産物を提供したい」が最大で、次いで「環境負荷を少なくしたい」が多く、農産物への付加価値や環境負荷の低減の観点に関する割合が高い。
- 有機農業を行っている者が取組面積を縮小する際の理由は、「人手が足りない」が最大で、次いで「栽培管理や手間がかかる」が多く、これらに販路開拓の課題が続き。

有機農業の取組面積を拡大したい理由（複数回答）



有機農業の取組面積を縮小したい又は現状維持の理由（複数回答）



出典：令和3年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査 有機農業等の取組に関する意識・意向調査結果

有機農業の技術の体系化、横展開

- 有機農業については、現場で培われた優れた技術が蓄積されており、こうした技術を体系化し、横展開するとともに、開発されつつある技術の社会実装を進めていく必要。
- 各種生産技術の横展開として、栽培技術マニュアル等を作成し、全国の普及指導機関等に広く提供。また、関係者のネットワークづくりにより技術の共有を行うとともに、生産技術の持続的な改良に向けた研究開発を推進。

【現場で培われた有機農業技術の例】

土壌の太陽熱消毒（畑作物）



透明のシートで農地を被覆し、太陽熱により土壌中の病原微生物等を駆除。

育苗の技術（水稻）



- ・機械化に対応したポット苗を育苗。
- ・活着の良い苗とするため、中苗以上のものを使用。

除草の技術（水稻）



農研機構では、みのる産業(株)、県、生産者等と連携し乗用型除草機を2015年に開発。

写真：NPO法人 民間稲作研究所

有機農業技術の横展開の取組

これまでの各種技術の取りまとめ(マニュアル等)

- 有機農業の栽培マニュアル
(-実践現場における事例と研究成果-)



・暖地の水田二毛作、ホウレンソウの施設栽培、高冷地露地のレタス栽培の研究成果に基づく安定栽培技術を紹介。

※農研機構HPよりダウンロード可



- 機械除草技術を中心とした
水稻有機栽培技術マニュアル ver.2020



・除草体系をはじめ水稻の有機栽培管理技術を分かりやすく解説。現場実証試験の概要や生産費についても掲載。

※農研機構HPより閲覧可



有機農業に関する知識・技術の横展開の取組

- 未来に繋がる持続可能な農業推進コンクール
(旧：環境保全型農業推進コンクール)
平成7年度から実施（平成29年度より名称変更）。農林水産大臣賞等を授与し、有機農業者や民間団体の先進的取組を広く発信。

有機農業の技術の開発

- 食料安全保障の強化や、農業の生産力向上と持続性の両立を目指す「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、化学農薬や化学肥料の使用量を削減し、有機農業を面的に推進するための技術開発は重要。
- このため、(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構において、有機農業推進に向けた研究プロジェクトを実施中。

園芸作物における有機栽培に対応した病害虫対策技術の構築

<研究概要>

園芸作物において有機農業への転換を進めるため、土壌太陽熱養生処理(※)による土壌病害抑制効果の検証や処理方法の最適化、国産天敵製剤等の開発

土壌太陽熱養生処理の効果検証



※土壌太陽熱養生処理：
太陽の熱と微生物の発酵熱により土壌を高温にし、雑草の種や病原菌を駆除する技術

国産天敵製剤の開発



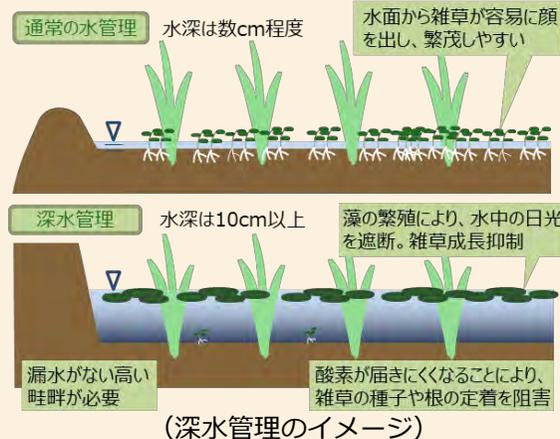
ハダニを捕食するカブリダニ

事業名：みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進(現場ニーズ対応型研究)
 予算額：54百万円(令和6年度概算決定額)
 研究期間：令和5年度～令和7年度
 研究機関：農研機構(代表)、(株)ジャパンバイオフィーム、石原産業(株)、日本曹達(株)、(株)微生物化学研究所、鹿児島県等

有機農業推進のための深水管理による省力的な雑草抑制技術の開発

<研究概要>

有機水稻栽培において雑草抑制に有効な深水管理を行う際に必要となる、畦畔整備技術や効率的な機械除草技術等について開発

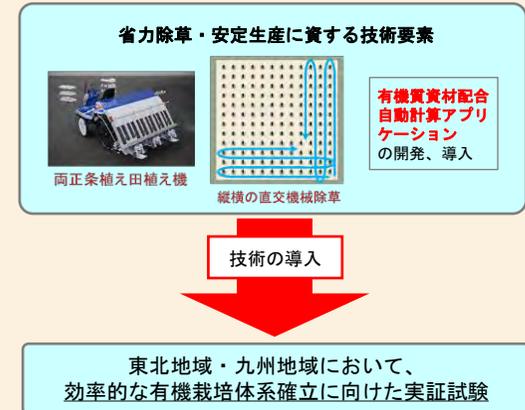


事業名：みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進(現場ニーズ対応型研究)
 予算額：57百万円(令和6年度概算決定額)
 研究期間：令和4年度～令和6年度
 研究機関：農研機構(代表)、秋田県、島根県、宮城大学、秋田県立大学、(株)オプティム、三陽機器(株)等

省力除草、安定生産の水田有機栽培体系の実証と支援アプリケーションの開発

<研究概要>

縦横両方向に機械除草が可能となる両正条植え田植え機による除草時間削減効果の実証、肥培管理を支援するアプリケーションの開発

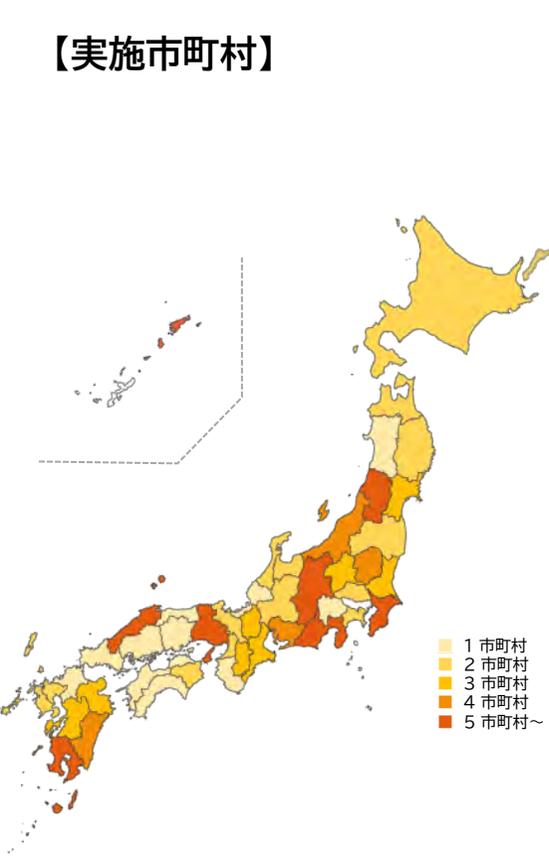


事業名：戦略的スマート農業技術等の開発・改良
 予算額：2,450百万円の内数(令和3年度補正)
 研究期間：令和4年度～令和6年度
 研究機関：農研機構(東北農研(代表)、農機研、九沖研、植防研)、佐賀県農試

○有機農業の面積拡大に向けて、地域ぐるみで有機農業の生産から消費まで一貫して取り組む『オーガニックビレッジ』を2025年までに100市町村、2030年までに200市町村創出することを目標に、全国各地での産地づくりを推進。

○令和3年度補正予算からみどりの食料システム戦略推進総合対策により支援を開始し、現時点で45道府県124市町村で取組開始。

【実施市町村】



都道府県	市町村	都道府県	市町村
北海道	② (安平町、旭川市)	三重県	③ (尾鷲市、名張市、伊賀市)
青森県	② (黒石市、五戸町)	滋賀県	③ (甲賀市、 <u>近江八幡市</u> 、 <u>日野町</u>)
岩手県	② (花巻市、一関市)	京都府	② (亀岡市、 <u>京丹後市</u>)
宮城県	③ (登米市、 <u>栗原市</u> 、 <u>大崎市</u>)	大阪府	② (堺市、 <u>泉大津市</u>)
秋田県	① (大潟村)	兵庫県	⑨ (豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、淡路市、神戸市、朝来市、加東市、上郡町)
山形県	⑦ (米沢市、鶴岡市、新庄市、川西町、山形市、酒田市、高島町)	奈良県	③ (宇陀市、天理市、 <u>山添村</u>)
福島県	② (二本松市、喜多方市)	和歌山県	① (かつらぎ町)
茨城県	③ (常陸大宮市、 <u>石岡市</u> 、 <u>笠間市</u>)	鳥取県	① (日南町)
栃木県	④ (小山市、市貝町、塩谷町、 <u>栃木市</u>)	島根県	⑤ (浜田市、大田市、邑南町、吉賀町、江津市)
群馬県	③ (甘楽町、高山村、 <u>みなかみ町</u>)	岡山県	① (和気町)
埼玉県	② (小川町、 <u>所沢市</u>)	広島県	① (神石高原町)
千葉県	⑥ (木更津市、佐倉市、神崎町、 <u>成田市</u> 、 <u>いすみ市</u> 、 <u>多古町</u>)	山口県	① (長門市)
神奈川県	② (相模原市、小田原市)	徳島県	② (小松島市、海陽町)
山梨県	① (北杜市)	香川県	① (三豊市)
長野県	⑥ (辰野町、松川町、飯田市、飯綱町、 <u>伊那市</u> 、 <u>佐久市</u>)	愛媛県	① (今治市)
静岡県	⑥ (掛川市、藤枝市、川根本町、 <u>静岡市</u> 、 <u>富士宮市</u> 、 <u>伊豆の国市</u>)	高知県	① (馬路村)
新潟県	④ (佐渡市、新発田市、 <u>五泉市</u> 、 <u>阿賀野市</u>)	福岡県	① (うきは市)
富山県	② (南砺市、富山市)	佐賀県	② (<u>上峰町</u> ・ <u>みやき町</u>)
石川県	② (珠洲市、羽咋市)	長崎県	② (南島原市、 <u>雲仙市</u>)
福井県	① (越前市)	熊本県	③ (南阿蘇村、山都町、 <u>菊池市</u>)
岐阜県	② (白川町、 <u>飛騨市</u>)	大分県	③ (佐伯市、臼杵市、豊後高田市)
愛知県	④ (東郷町、南知多町、岡崎市、 <u>大府市</u>)	宮崎県	④ (綾町、高鍋町・木城町、 <u>えびの市</u>)
		鹿児島県	⑤ (南さつま市、湧水町、南種子町、徳之島町、 <u>姪良市</u>)

令和5年度93市町村



新たに31市町村で取組を開始

令和6年度124市町村

- オーガニックビレッジに取り組まれている各市町村に、令和5年度時点の取組内容のポイントを整理いただいた事例集を6月25日に公表しました。
- 今後、有機農業の産地づくりに取り組まれる地域の参考となるよう、各市町村の課題、成果、主な取組内容等が整理されています。

- ・ 全国90の市町村のオーガニックビレッジの取組を掲載。
- ・ 各市町村について、主な品目のほか、「人材育成」、「加工品開発」、「学校給食」等のキーワード付きで整理。



都道府県	市町村	開始年度	キーワード	主な品目	ページ
北海道	安平町	R4	人材育成・加工品開発	学校給食・大豆類	5
徳島県	藤島町	R4	学校給食	米類	6
青森県	五戸町	R4	学校給食	野菜類(人参・白菜等)	7
岩手県	花巻市	R5	スマート	米類	8
岩手県	一関市	R5	学校給食	米類	9
秋田県	大館市	R4	スマート・学校給食	米類	10
山形県	米沢市	R4	スマート・加工品開発	米類	11
山形県	鶴岡市	R4	学校給食	米類	12
山形県	新庄市	R4	加工品開発・学校給食	米類	13
山形県	川根町	R4	加工品開発	米類(枝豆等)	14
山形県	山形市	R5	学校給食・産地開発	野菜類(人参・白菜等)	15
山形県	鶴岡市	R5	有機農業・産地開発	米類	16
山形県	高橋町	R5	学校給食	米類	17
山形県	二本松市	R4	人材育成・学校給食	米類(もち麦・もち米)	18
福島県	喜多方市	R5	産地開発	米類	19
茨城県	鹿嶋大洗町	R5	加工品開発・学校給食	米類(もち麦・もち米)	20
栃木県	小山市	R4	学校給食・産地開発	米類	21
栃木県	常陸郡	R4	加工品開発・学校給食	米類(もち麦)	22
栃木県	塩谷町	R4	スマート・産地開発・学校給食	米類	23
群馬県	甘楽町	R5	産地開発・学校給食	米類(もち麦)	24
群馬県	碓氷郡	R5	産地開発(加工品開発)	米類(もち麦)	25
埼玉県	小川町	R4	学校給食	野菜類(人参・白菜等)	26
千葉県	美津市	R4	スマート・学校給食	米類	27
千葉県	佐倉市	R4	学校給食・産地開発	米類	28
神奈川県	藤沢市	R4	人材育成・学校給食・産地開発	野菜類(人参・白菜等)	29
神奈川県	小田原市	R5	加工品開発	米類(もち麦)	30
山梨県	北杜市	R4	学校給食・スマート	米類(もち麦)	31
長野県	諏訪市	R4	産地開発・加工品開発	米類(もち麦)	32
長野県	飯田市	R5	産地開発・学校給食	米類	33
長野県	飯岡町	R5	スマート・学校給食	米類(もち麦)	34
静岡県	藤川市	R4	加工品開発・スマート	米類(もち麦)	35
静岡県	藤川市	R4	学校給食・産地開発	米類(もち麦)	36
静岡県	川根本町	R5	産地開発	米類(もち麦)	37

各市町村について、取組の「キーワード」や主な品目を整理

【各市町村の掲載内容】



- 【掲載項目】
- ・ 主要品目
- ・ 実施体制、面積情報
- ・ 成果目標
- ・ 課題(拡大をはばむ雑草等)
- ・ 取組の成果(導入技術等)
- ・ 主な取組内容のポイント

○ 掲載ページ(農林水産省オーガニックビレッジのページ)
https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/organic_village.html

有機農業と地域振興を考える自治体ネットワークについて

有機農業を生かして地域振興につなげている自治体や、これから取り組みたいと考える自治体、民間企業・民間団体の情報交換等の場として「**有機農業と地域振興を考える自治体ネットワーク**」を設置し、**自治体間の情報共有等を促進**

令和6年6月5日時点で**109市町村24県4団体**が参加

市町村会員

北海道	安平町	埼玉県	小川町	愛知県	あま市	島根県	浜田市
青森県	黒石市	千葉県	いすみ市		武豊町		江津市
	五戸町		木更津市		岡崎市		吉賀町
岩手県	一関市		山武市	三重県	尾鷲市		邑南町
宮城県	登米市		匝瑳市		名張市	岡山県	大田市
秋田県	大潟村		佐倉市	滋賀県	伊賀市	広島県	和気町
	大館市	神奈川県	多古町		甲賀市		東広島市
山形県	川西町		相模原市		近江八幡市	山口県	神石高原町
	鶴岡市	新潟県	小田原市		日野町		宇部市
	米沢市		佐渡市	京都府	亀岡市	徳島県	長門市
	新庄市	富山県	新発田市	兵庫県	市川町		小松島市
福島県	高島町	福井県	南砺市		丹波市	愛媛県	海陽町
	山形市		池田町		丹波篠山市	福岡県	今治市
	磐梯町	山梨県	越前市		宍粟市	長崎県	うきは市
	二本松市	長野県	北杜市		養父市	熊本県	南原市
茨城県	常陸大宮市		松川町		淡路市		山都町
	笠間市		飯田市		豊岡市		南阿蘇村
	石岡市		辰野町		上郡町	大分県	菊池市
	かすみがうら市	岐阜県	飯綱町		神戸市		白杵市
栃木県	小山市	静岡県	佐久市	奈良県	加東市	宮崎県	佐伯市
	市貝町		白川町		朝来市		豊後高田市
	塩谷町	愛知県	掛川市		宇陀市		綾町
	宇都宮市		藤枝市	和歌山県	天理市	鹿児島県	木城町
	栃木市		東郷町		和歌山市		高鍋町
群馬県	高山村		大府市	鳥取県	かつらぎ町		南さつま市
	甘楽町		南知多町		日南町		湧水町
			美浜町				南種子町
			豊川市				徳之島町

都道府県会員

青森県、秋田県、山形県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、富山県、石川県、福井県、長野県、愛知県、滋賀県、兵庫県、和歌山県、岡山県、山口県、徳島県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

民間企業・民間団体会員

(一社)日本有機農産物協会
井関農機(株)
(株)INGEN
ハイパーアグリ(株)

★参加は随時受付★

お問合せ先：農産局農産政策部農業環境対策課 (03-6744-2114)
HP：<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/youki/jichinet.html>



事例報告セミナーの開催状況

令和5年7月 「有機農産物の生産・利用拡大に向けた地域間の連携（オーガニックブリッジの取組）」をテーマに先進事例を紹介（大阪府泉大津市、山形県鶴岡市、新潟県佐渡市）

令和5年9月 オーガニックライフスタイルEXPOにおいて「オーガニックビレッジ宣言各自治体の取組み」を紹介（千葉県木更津市、京都府亀岡市、兵庫県丹波篠山市）

令和6年1月 オーガニックビレッジ全国集会を開催

市町村 { 長野県松川町、山形県川西町、島根県浜田市、福井県越前市、兵庫県豊岡市、北海道安平町 }

民間団体 { 楽天農業株式会社、(一社)次代の農と食をつくる会、(株)ジャパンバイオファーム、NPO法人民間稲作研究所、(一社)MOA自然農法文化事業団、(株)マイファーム }

【過去】

平成30年度

○ネットワーク設立準備会合
全国6市町村の有機農業推進の取組事例の紹介・共有

令和元年



○給食から広がる有機農業産地づくり
(千葉県いすみ市・愛知県東郷町)

○加工品・マーケティングセミナー (株)こだわりや)

○有機農産物の販路拡大のための自治体のチャレンジ
(大分県臼杵市・島根県)

令和2年



○耕作放棄地を活用した有機農業の取組拡大
(株)アグリーンハート、(株)ONE DROP FARM、千葉県有機農業推進協議会)

○有機農産物物流効率化セミナー2021
(取組紹介、国産有機サポーターズからの意見 等)

○有機農産物の学校給食での使用、ネットワーク化
(名古屋大学 香坂研究室主催)

令和3年



○有機農産物の地域での消費拡大、学校給食への導入等
(千葉県木更津市 等)

○オーガニックライフスタイルEXPOで実施

○自治体による有機農業技術習得支援の取組、学校給食への有機食材導入の経過等

令和4年



○有機農業の拡大に向けた地域ぐるみの取組、学校給食での試行的な利用、スマート機械の導入等
(青森県黒石市、茨城県常陸大宮市、徳島県小松島市等)

○オーガニックライフスタイルEXPOで実施

○オーガニックビレッジ全国集会を開催
(鹿児島県南さつま市、熊本県山都町、千葉県木更津市、宮崎県高鍋町、奈良県宇陀市等の市町村長から報告)